

Europe Indicators

発表日:2020年3月19日(木)

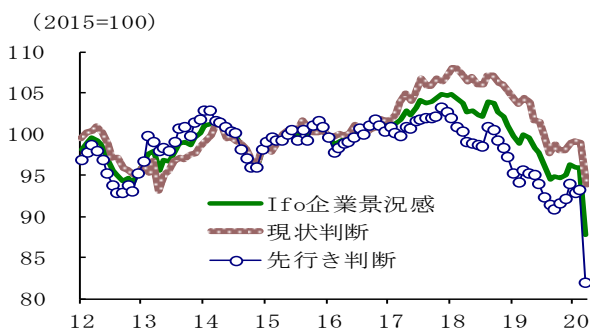
欧州経済指標コメント:3月速報ドイツIfo景況感

～絶叫マシン並みのフリーフォール～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

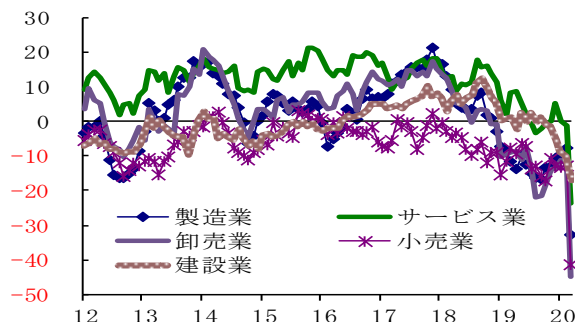
- 3月のドイツIfo企業景況感(2015年=100の指数)は、通常の発表日程(25日)を前倒しし、約90%集計段階の速報値が発表された。コロナの欧州経済への影響を計る最初の手がかりとなる。集計期間は3月2日～18日。欧州各国で感染が拡大し、外出制限などの対策が強化された時期と重なる。それによれば、3月速報の景況指数は前月から8.3ポイント下落、単月では史上最大の落ち幅を記録。先行き判断が11.2ポイント下落し、水準としてもリーマンショック時のボトム(2008年12月の79.2)時に迫る史上最低圏に急落した。現状判断の落ち幅はよりマイルドだが、こちらも前月から5.2ポイント下落と、単月の落ち幅としてはリーマンショック時を上回る。
- 指数の下落幅が余りに大きく、通常のIfoとGDPの関係通りにはならないとみられるが、企業の業況判断はリーマンショック時を上回る速さで悪化している。集計期間を考えると、一部の回答は、ドイツ政府が商店閉鎖や旅行自粛などの行動制限を強化する前のものとみられる。確報や来月以降の指数は一段と低下する可能性がある。
- 業種別の業況判断(ゼロが好不況の分岐点)は、店舗閉鎖や外出手控えの影響が直撃する小売業や卸売業が統計史上で最低水準に急落、製造業も史上最大の落ち幅を記録した。これまで2桁台のプラス圏を維持していたサービス業が一気にマイナス圏に沈んだ。幅広い業種に影響が確認。

■ドイツ:Ifo企業景況感



出所:Ifo

■ドイツ:業種別の先行きの業況判断



出所:Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2019				2020											
	2Q	3Q	4Q	1Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企業景況感(総合)	98.5	95.1	95.4	93.2	99.5	98.3	97.7	96.1	94.5	94.8	94.7	95.1	96.3	96.0	96.0	87.7
現状指数	102.4	98.8	98.3	97.3	103.9	101.7	101.5	100.0	97.7	98.8	98.0	98.1	98.9	99.2	99.0	93.8
先行き指数	94.8	91.5	92.5	89.4	95.3	95.1	94.0	92.3	91.3	90.9	91.5	92.2	93.9	92.9	93.2	82.0
業況判断	15.3	7.9	8.5	-	17.5	14.9	13.5	10.0	6.5	7.2	7.0	8.0	10.6	9.8	10.1	-
製造業	3.2	-5.4	-5.4	-6.8	4.0	4.3	1.3	-4.0	-5.7	-6.4	-5.4	-5.8	-5.0	-1.7	-1.5	-17.2
サービス業	23.4	16.5	18.7	11.4	27.6	21.7	21.0	18.7	13.8	17.0	16.9	17.7	21.4	18.8	17.4	-2.0
卸売業	7.2	-4.5	-3.5	-6.0	9.6	4.6	7.3	-0.3	-6.4	-6.9	-6.0	-2.2	-2.3	2.1	1.0	-21.1
小売業	6.5	3.8	3.8	-5.6	3.6	7.0	9.0	5.0	4.2	2.3	1.5	5.6	4.4	1.5	1.2	-19.5
建設業	23.0	22.3	19.5	11.3	21.6	24.8	22.6	23.2	21.6	22.1	20.7	20.0	17.8	13.4	13.0	7.6

出所:Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

